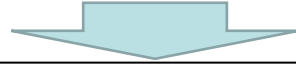


活動の経緯チャート「南砺市版エコビレッジ事業」の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～

南砺市 エコビレッジ構想・エコビレッジ推進事業					
活動№	活動①	活動②	活動③	活動④	活動⑤
名称	森林利活用による再生可能エネルギー利用推進	「発酵バイオマス農業」の推進	桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」の利活用プロジェクト	エコビレッジ部活動	エコビレッジ住宅ゾーン
対象課題	森林資源の持続的活用と多面的機能の維持、未利用エネルギー活用とCO2排出量削減	木の皮などのバイオマスの発酵活用	「新しいライフスタイル」を提案する情報発信、「麻布、養蚕、絹織物」など伝統産業・文化の復活、移住、定住者の地域活動の受け皿、住民との交流・コミュニティ形成	次世代の人材育成	新しい暮らし方の提案
活動内容	林地残材等を原料とした木質ペレット生産工場稼働と木質ペレットボイラー等の利用施設稼働(桜ヶ池クアガーデン等)による資源循環枠組みの構築	廃棄される木の皮を発酵させて熱とCO2等のガスを発生させ、その熱をビニールハウス内に取り込むことにより冬期の暖房を行い一年を通じた温室栽培を可能とする。	合掌造り家屋「かず良」の改修と利活用によるライフスタイル・伝統文化教育情報発信、コミュニティ交流拠点の形成	市内高校生・中学生の活動への支援:循環農業、共学農園、世代交流、地域文化	南砺産材による自然共生住宅と南砺の風土にあった住宅ゾーン・新しい暮らし方の提案
活動成果	木質ペレット生産工場「木の家」整備稼働「桜ヶ池クアガーデン」の木質ペレットボイラー整備稼働	桜ヶ池地区でビニールハウスを整備、通年の栽培を実証。発酵ガスのCO2により作物が活性化され、腐りにくく、食味の良い作物を収穫。	ゲストハウスの運営、囲炉裏体験やサテライトオフィス、まちづくりのための若者実習棟の拠点形成、コミュニティカフェ経営、城端絹福光麻布、福野綿、養蚕などの資料展示・情報発信、「かず良塾」発酵食や報恩講料理などの子ども食堂運営、東京と南砺を結ぶリバースビレッジなどライフスタイル提案		
連携先	桜ヶ池エコビレッジモデル地区、南砺森林資源利用協同組合、桜ヶ池クアガーデン	桜ヶ池エコビレッジモデル地区、桜ヶ池バイオマス農業推進協議会	桜ヶ池エコビレッジモデル地区、一般社団法人リバースプロジェクト、伝統産業再生事業協議会	市内高校生	
経緯	南砺市では、「環境保全・エネルギー」「農林漁業」「健康・医療・介護・福祉」「教育・次世代育成」の4つの分野が相互に連携・連動しながら、地域の自立と循環を図ることが重要だと考えていた。また、思いを共有するビジョン(構想)を描き、その実現に向けた取り組みの輪を広げていくことが必要と考え、その第一歩として市では、次代を担う子どもたちが安心して、地域に誇りを持ちながら暮らし続けていくための「エコビレッジ構想」の策定に着手した。その結果、2013年3月、南砺市と市民の協働によって、地域資源(人・自然・経済・情報)の「循環」による地域の「自立」を新たな視点とする総合的な地域づくりのあり方を示す構想として策定された。その中で具体的な事業推進のために「桜ヶ池地区」がモデル地区として設定された。				



2019年「SDGs未来都市・自治体 SDGs モデル事業」に下記内容で採択される。
 南砺市エコビレッジ構想をベースとし、2030年にありたい姿となる世界に発信する「南砺版エコビレッジ」の実現を目指し、「心豊かな「結」と「土徳」のまち創造／多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造／南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造／文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造」のビジョン実現を加速する取組みを推進する。
 そのためこれまでのSDGs貢献事業を継続拡大し深化、加速する「環境・社会・経済」の3側面を統合する3つの基盤となる取組みを実施



南砺市エコビレッジ推進課: SDGs三側面(経済、社会、環境)の取組			
活動№	活動1	活動2	活動3
名称	土徳文化により目指す一流の田舎	新たな住民自治・小規模多機能自治	コミュニティファンド・南砺幸せ未来基金
対象課題	次世代につなぐ地域の誇りの不足	急激な人口減少や高齢化、および依存型住民自治による機能の低下	地域の課題解決と魅力の向上のための資金支援の不足
活動内容	「もったいない」、「おかげさま」から一流の田舎、地域の誇り・本物の「土徳文化」を醸成するため、非認知スキルを高める教育を推進する。 【活動】 ・次世代育成プログラム ・SDGsワークショップ	全ての住民参加による真の住民自治を再構築する。なんと未来支援センターが行政とともに地域づくり協議会の運営を支援する。 【活動】 ・住民自治のための人材育成 ・各地区の取組発表会	地域課題や魅力向上のための資金の支援 企業や市民の寄付金・遺贈金、クラウドファンディング、休眠預金等を活用して資金を調達をする。 【活動】 ・地域課題解決などの事業支援 ・資金の調達
活動成果	SDGs、エコビレッジの更なる深化、次世代に伝承、交流人口の増加や土徳文化の発信など	住民自治組織の自立向上、地域一体化による縦割り組織の解消、地域課題の解決、地域住民の意識改革など	住みよい地域の実現、まちづくり人材の育成、定住促進など
連携先	小中学校、高等学校、大学、PTA	なんと未来支援センター、地域づくり協議会	なんと未来支援センター、南砺幸せ未来基金、企業
評価と課題	家庭教育の不足	従来の住民自治の概念の克服	自立的資金概念理解の促進